

一 本因本果の事

法界ことごと 悉ていたらく く常住不滅の為こもと 体く を云ふなり。されば妙楽大師こもと 爰元を釈する時、弘決く に云はく「当まさ に知るべし、身土一念三千なり。故に成道とき の時此の本理かな に称ひて、一身一念法界あまね に遍あまね し」云云。此の釈分明に本因本果を釈したり。身と云ふは一切衆生なり、土と云ふは此の一切衆生の住处なり、一念と云ふは此の衆生の念々のさごう 作業なり。故に成道の時此の本理に称ふとは本因本果の成道なり。本理と本因本果とは同じ事なり。法界とは五大なり。所詮法華經にやくざいぶつぜんれんげけしやう を持ち奉る行者は、若しょう 在しほんり 仏前蓮華化生しょうしほんり なれば称しょう 此本理の成道なり。本理に称ふとは、妙法蓮華經の本理に称ふと云ふ事なり。法華經の本理に称ふとは、此の經よ を持ち奉るを云ふなり。「若よ し能よ く持つこと有すなわ らば則すなわ ちすなわ ちすなわ 仏身を持つなり」とは是なり云云。